

プ ロ グ ラ ム

○印は連名の場合の講演者：
題名のあと()内は討論を含めた講演時間(分)

1 講演の討論時間は

3分(15分, 20分)

5分(25分, 30分)

10分(40分)

特別講演 (A 会場)

(10月23日 13:00~14:00)

(座長 松浦二郎)

1. ブルックヘブン国際ホットアトム化学会議
に出席して。

(東北大理 吉原賢二)

(10月24日 13:00~14:00)

(座長 日下 謙)

2. 環境の放射能汚染における諸問題

(東教大 三宅泰雄)

研究発表

A 会 場

第 1 日 (1 0 月 2 3 日)

{ 環境調査と放射化学・放射化分析・
分離 }

- | | | |
|--|---|--|
| 9:30~10:25 | (座長 坂東昭次) | 1A3. 放射化分析による亜鉛同位体比の測定
(15)(立教大理) 奥野久輝
○石森達二郎・手塚和正 |
| 1A1. ループ式照射法による放射化分析(20)
(甲南大理) ○辻治雄・藤原儀道・
岡本正明・難波乗安・日下謙 | 10:45~11:45 | (座長 辻 治雄) |
| 1A2. 中性子管をもちいた放射化分析装置
(20)(東芝総研) 藤井勲・亀井久
・小野寺浩一 | 1A4. 中性子照射した水, 炭化水素中の短寿
命核種(15)(立教大原研) 戸村健児 | |
| | 1A5. 金属亜鉛中のアンチモン, ヒ素, カド
ミウムの放射化分析(15)(静大理・
静大教育・信大理) 神原富尚
○鈴木淳亮・吉岡潤江・中村俊夫 | |

- 1A6. 浮遊じんあい中アルミニウム, バナジウムの放射化分析(15)(原研)
○坂東昭次・今橋 強
- 1A7. 岩石中のウラン, トリウム の同時放射化分析(15)(立教大原研)
○樋口英雄・戸村健児
- 1A8. 海水, 海産生物中の希土類元素の放射化分析(20)(放医研臨海実験場)
○鈴木浜治・大桃洋一郎・小柳 卓・佐伯誠道
- 1A9. 海水中のヒ素, アンチモンの放射化分析(20)(近大原研・近大理工・京大化研)
○合田四郎・西川泰治・重松恒信
- 1A10. 海水中における放射性セリウムの化学的挙動(第二報)(20)(放医研)
○平野茂樹・小柳 卓・佐伯誠道
- 1A11. イオン交換法によるスズ, インデウム, アンチモン, テルルの分離(15)(静大理)○神原富尚・奥野健二・石渡達二
- 1A12. アルミニウムイオン共存下におけるCs, Sr, Ce の陽イオン交換樹脂への吸着と分離(15)(原研)
○久保田益充・佐藤 彰・天野 恕
- 1A13. ^{210}Po の金属上への自然析出の連続的観察(25)(京大原子炉) 橋本哲夫
- 第2日(10月24日)
〔分離・その他〕
- 9:30~10:30 (座長 中原弘道)
- 2A1. 照射アメリカシウムよりキュリウムの分離(20)(原研) 上野 馨
○佐川千明・渡辺賢寿
- 2A2. Pa(IV)の硫酸溶液からのN-Benzoyl-N-Phenyl-hydroxylamine による抽出(20)(東北大金研)鈴木進 ○川筋伊佐務
- 2A3. プルトニウムの陰イオン交換(20)(原研)○白田重和・市田進一
梅沢弘一・夏目晴夫
- 10:50~11:45 (座長 木村 幹)
- 2A4. アメリカシウムの化学(4) — Am(II)とAm(V) のカラムクロマトグラフ分離(20)(東北大金研)鈴木 進
○原 光雄
- 2A5. 中性子照射ウラン中の短寿命希土類核種の分離(15)(熊大工・熊大理・京大原子炉・阪大工)
○大吉 昭・大吉慎美子・玉井忠治・品川睦明
- 2A6. ウランのナトリウムアマルガム抽出に対する陰イオンの影響(20)(原研)
○小林義威・斉藤 昭
- 14:20~15:00 (座長 野崎 正)
- 2A7. 水溶液中におけるポロニウムの吸着挙動(20)(静大理)菅沼英夫・寒川強・波多江一八郎

- 2A9. アルゴン気流中における浮遊塵中極微量 ^{210}Po の揮発(20)(放医研)
○阿部道子・阿部四朗

15:05~15:40 (座長 玉井忠治)

- 2A10. 高純度ケイ素マトリックスを溶融解するときの ^{11}C の挙動(20)
(理研・小松電子)○野崎 正・巻出義紘・八劍吉文・秋山信之・遠藤是行
- 2A11. 中性子照射した AlN からの燃焼法による ^{14}C の放出とその機構(15)
(原研)○畑 健太郎・四方英治・天野 恕

第3日(10月25日)

〔交換反応・分離・その他〕

9:30~10:30 (座長 小山睦夫)

- 3A1. 金属ハライドのガスクロマトグラフィ—(第VIII報)—ラジオガスクロマトグラフによる同位体交換反応の研究—(20)(東大理・理研)
○巻出義紘・斉藤信房

- 3A2. ハロゲンペンタアンミンルテニウム(III)におけるハロゲン配位子の同位体交換反応(20)(熊本工)
○篠原哲夫・四宮知郎・大吉 昭

- 3A3. 水溶液中におけるヨウ化物と過ヨウ素酸塩の反応について(20)(東教大理)
池田長生 ○高橋泰子

10:45~11:40 (座長 大吉 昭)

- 3A4. ヘキサアンミンコバルト(II)カチオンによるアクチノイド錯体の沈殿:酒石酸

錯体の沈殿(20)(原研)上野 馨
○星 三千男

- 3A5. コバルト・ α -ニトロソ- β -ナフトール塩への放射性核種の共沈挙動とくにルテニウムの化学種の影響について(15)(放医研)
渡利一夫・今井靖子・伊沢正実

- 3A6. フェロシアン化銅の組成とRIの吸着特性(20)(放医研)○河村正一・柴田貞夫・黒滝克己・大綱保司・伊沢正実

11:50~12:30 (座長 河村正一)

- 3A7. 固一液相分配(共沈殿)の定量的取扱(20)(近大理工・京大化研)
○宗像 恵・豊増茂樹・重松恒信

- 3A8. ヒドロキシアパタイトに対する各種金属イオンの共沈殿(20)(京大化研)
藤野 治 ○松井正和・田伏正之・重松恒信

B 会 場

第1日(10月23日)

〔ホットアトム〕

9:30~10:40 (座長 海老原寛)

- 1B1. 水系における反跳 ^{32}P 原子の化学反応—水分子の還元性についての—考察—(20)(京大原子炉)
○小林慎江・高田実弥・木曾義之

- 1B2. リン酸塩ガラスのホットアトム化学

(続報)(30)(東大教養)松浦二郎
○林 清科・小林嘉光

- 1 B 3. ^{105}Ru 塩化物の β -壊変にともなう化学的効果(20)(阪府放中研)
○朝野武美・谷口節男・劔 実夫

11:00~12:05 (座長 小林慎江)

- 1 B 4. トリウムフタロシアニンの調製およびそのホットアトム化学の昇華法による研究(20)(金沢大理)
○遠藤和豊・阪上正信
- 1 B 5. フタロシアニン錯体における反跳原子の挙動に関する固体化学的考察(25)(原研)○工藤 司・天野 恕
- 1 B 6. フェロセンおよびその誘導体の反跳化学(20)(原研・ブルックヘヴン国立研究所)○海老原寛・A.J.Weiss
MANNY HILLMAN

14:20~15:25 (座長 立川円造)

- 1 B 7. 溶液および凍結状態におけるホットアトム化学(第4報)トリスアセチルアセトナトクロム(III)のベンゼン溶液系におけるホットアトム反応(25)(東大理)○富永 健・西 保夫
- 1 B 8. ^{35}S 反跳原子と有機化合物との反応(^{35}S 反跳原子のベンゾチアゾールおよび2-メチルベンゾチアゾールへの-C-H, -C-C-の挿入反応について)(20)(北里大衛生・理研)
○新沢和裕・滝 幸
- 1 B 9. 反跳トリチウム原子と有機化合物との反応(20)(東大理)○滝口秀樹・森川尚威・島村 修

第2日(10月24日)

[ホットアトム・メスバウアー・チャージスペクトロメトリー]

9:30~10:50 (座長 富永 健)

- 2 B 1. アセチルアセトナト錯体混晶中の ^{57}Co ECホットアトム効果および放射線分解の研究(20)(お茶の水女大理)
○岩上宏子・佐野博敏
- 2 B 2. ^{57}Co (II)錯体におけるEC壊変で生成する ^{57}mFe の化学状態のメスバウアー分光法による研究(20)(東大理)
齋藤信房 ○魏和祥・竹田満洲雄
- 2 B 3. メスバウアー効果による多環芳香族化合物—鉄錯体の研究(20)(愛媛大工・九大理)中山祐輔 ○高島良正
- 2 B 4. ホットイオンのESR:無機錯体照射生成物中の不安定原子価検出(20)(東大理)○磯谷順一・藤原鎮男

11:10~11:50 (座長 八木益男)

- 2 B 5. $^{80}\text{Br}-\text{CH}_2-\text{Kr}$ 系における熱イオン反応による $\text{CH}_2-^{80}\text{BrBr}$ の生成(20)(原研)沼倉研史・佐伯正克
○立川円造
- 2 B 6. (L, T)壊変により生ずる反跳 ^{80}Br の気相反応:プロパンにおける同位体効果(20)(原研)
○沼倉研史・立川円造
- 14:20~15:30 (座長 西沢嘉寿成)
- 2 B 7. 気相における ^{80}mBr の核異性体転移にともなう化学的効果— CH_3Cl と

の反応について(30)(東北大理研
・東北大理)八木益男・近藤健次郎

○小林孝彰・塩川孝信

2B8. 気相中における $^{79}\text{Br}(n, \gamma)^{80}\text{Br}$ の
化学的効果: CH_4 との反応(20)
(原研)○佐伯正克・沼倉研史・立川
円造

2B9. 荷電スペクトルに対する気体の効果
(20)(理研)○藤井丈志・荒谷美智
・斎藤信房

15:45~16:15 (座長 荒谷美智)

2B10. ^{147}Pm の β -壊変にともなうK殻電離
確率(チャージスペクトロメトリーの一
環として)(15)(阪大工)
品川睦明・成定薫
○寺松英紀・岩見 裕・西沢嘉寿成

2B11. ^{210}Po の α 壊変にともなうK殻電離確
率(チャージスペクトロメトリーの一
環として)(15)(阪大工)
品川睦明・寺松英紀・西沢嘉寿成・
岩見 裕 ○成定薫

第3日(10月25日)

【核 反 応】

9:30~10:10 (座長 鍛冶東海)

3B1. ジルコニウム-95のDecay(20)
(原研)○鈴木敏夫・中原嘉典・梅沢
弘一 則

3B3. 質量数100近傍の核分裂片構造(20)
(京大原研)西 朋太 ○今西信嗣

10:30~11:30 (座長 梅沢弘一)

3B4. ^{28}Mg を生成する諸反応の反応断面積
(20)(名大理・理研・阪大理・東教
大理)○古川路明・野崎正・久米三四
郎・関李紀

3B5. 鉄の陽子照射の励起関数(20)
(名大理)○志津里公子・古川路明

3B6. 中性子数50付近の $(n, 2n)$ 反応
(20)(東北大理)○玉木洋一・鍛冶
東海・塩川孝信

13:00~14:00 (座長 岡村日出夫)

3B7. 原子核の準位密度に対するshell効
果と変形の影響(20)(京大原研)
○岡本弘信・中原弘道・西 朋太

3B8. ^{241}Am 中性子核分裂片の飛程について
(20)(京大原研)西 朋太・藤原一
郎 ○中原弘道・今西信嗣・岡本弘信

3B9. ウランの熱中性子核分裂における
 ^{148}Pm の独立収率(20)(原研)
梅沢弘一

14:20~15:40 (座長 古川路明)

3B10. α 粒子で照射したニッケルターゲット
からの亜鉛の蒸発速度(20)(阪大理)
久米三四郎

3B11. $\text{NaI}(\text{Tl})$ 検出器による γ 線スペク
トルの計算機解析(20)(原研)
○関根俊明・馬場澄子・馬場 宏・
天野 恕

3B12. 光電ピーク法による γ 線スペクトルの
解析(40)

(原研) ○馬場 宏・馬場 澄子・岡下
宏・鈴木 敏夫